

第1回環境振動設計検討小委員会 議事録

A. 日時 2021年5月14日(金) 17:30~19:00

B. 開催方法 オンライン (zoom)

C. 出席者(敬称略)

原田, 相原, 朝日, 小田島, 片岡, 西川, 濱本, 林, 東田, 山中, 崔 (記録)

D. 提出資料【提出委員名】 (学会ストレージに格納)

21-1-1 設置申請_2021 環境振動設計検討小委員会 [原田]

21-1-2 活動計画_2021 環境振動設計検討小委員会 [原田]

E. 議事内容

1. 自己紹介

・各委員の簡単な自己紹介が行われた。

2. 活動計画の説明(資料: 21-1-1, 21-1-2)

・資料に基づき、原田主査より委員構成・今年度活動計画の概要が説明された。

3. フリーディスカッション

【今後の検討課題について以下の意見が出た】

・設計の実務では主に2004年版が使用されており、2018年版の評価指針と設計手引き(2020年版)は、あまり使用されていない。

・2004年版に比べて、新たな評価指針と設計手引きは、時間効果、性能マトリクス、確認計測という内容が含まれており、その実用性について検討する必要がある。

・時間効果を考慮した評価では、振動の継続時間が短い場合、人が感じる振動を小さく評価できることになっている。一方、過去の事例や文献によると、衝撃的な振動の場合、人は振動をより大きく感じるという報告もある。

・計測確認は、設計者にとって大きなエネルギーを必要とする部分であり、実施するのはハードルが高い。

・設計検討小委員会において、環境振動設計を行った実建物で、設計確認のための振動計測を実施する機会(勉強会)を設けてほしい。

<次回までの宿題(提出期限: 2021年7月6日)>

以下の3つの項目(いずれか一つでも良い)について、各委員の意見や考えをレポートにまとめる。

①「設計の手引き」の枠を広げるための新たな検討内容について

②「設計の手引き」で検討が不十分な項目の洗い出し、追加検討・追加資料の必要性について

③ 時間効果に関する検討事項について

○次回：2021年7月13日（火） 17:30～19:30

対面（建築学会会議室）とオンライン併用による開催

以上